

令和7年7月開成町教育委員会定例会 会議録

日 時： 令和7年7月22日(火) 13時30分～14時40分

場 所： 開成町役場 201 会議室

出席者： 石塚教育長、村岡教育長職務代理者、野地委員、井上委員、本澤委員

【事務局】 田中教育委員会事務局参事兼学校教育課長、
田代生涯学習課長

議 事：

1) 開会 教育長より開会の宣言

2) 会議録署名人の指名 本澤委員が指名された。

3) 議事

《協議事項》

(1) 開成町部活動地域移行推進委員会設置要綱の一部改正について

・資料1について説明した。

○教育長 協議事項1 開成町部活動地域移行推進委員会設置要綱の一部改正について、事務局お願いします。

○事務局 資料1をご覧ください。今回、「開成町部活動地域移行推進委員会設置要綱」の一部を改正する案件でございます。資料1の下部に記載しております変更箇所についてご説明いたします。左側が改正後、右側が改正前であり、変更部分については下線で表示しております。

まず、改正前の内容についてご確認ください。中段の「部活動の地域移行」という部分が、「部活動の地域展開」に変更される予定です。次に、改正前の記述のうち、下から2行目の「開成町部活動地域移行推進委員会」という名称が、「開成町部活動改革推進委員会」に改正されます。

こちらの改正理由につきましては、資料2をご覧ください。スポーツ庁および文化庁から提示されている資料では、「改革の理念および基本的な考え方」の項に記載されている通り、「急激な少子化が進む中でも、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実すること」が改革の主目的とされています。

これまでの、部活動を地域に移行することが主な目的となっておりましたが、国としては今後、改革としてさらに踏み込んだ内容として捉え、改正する方針が示されております。この方針に基づき、町の要綱につきましても「地域移行」という表現を「改革」に改める形で変更を行います。

続きまして、(3)の内容についてです。こちらの1行目に記載されておりますように、「地域移行」という名称でしたが、「地域展開」

へと変更となり、これまでより一步踏み込んだ指針が示されております。

部活動の地域移行については、今年度が2年目にあたり、来年度で3年目を迎えることとなります。そして、この3年目には主要な部活動について、すべての部活動の移行が完了する見込みです。開成町では、すでに「地域展開」というスキームに入っているため、現時点での実施状況と要綱の内容が一致していると考えております。

なお、本日の協議事項に関しましては、国の要綱の改正に伴い、町の要綱についても改正を進めていく必要があります。その点につきまして、ご理解賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

○教育長 この件につきまして、委員の皆様よりご質問やご意見などございますか。

○全委員 質問、意見等無し

《報告事項》

(1) 町立学校2学期制の検討について

・資料2について説明した。

○教育長 町立学校の2学期制について、私より報告します。まず、前回の定例教育委員会において2学期制の導入についてご検討いただき、誠にありがとうございます。その決定事項につきましては、園長・校長会でご報告しました。その結果を踏まえ、令和8年度より小中学校は2学期制へ移行することとなり、幼稚園につきましては従来通り3学期制を継続する方針であることを確認しました。今後は10月頃を目途に、生徒や保護者など関係者への周知を行う予定です。また、10月までの間に給食等の具体的な調整を進め、周知活動に備える所存です。

 こちらにつきまして、委員の皆様からご質問やご意見などございますか。

○全委員 質問、意見等無し

○教育長 小中学校につきましては、2学期制への移行を来年度に向けて進めてまいります。

(2) 文命中学校体育館空調設備設置工事に係る進捗

・資料2について説明した。

○教育長 文命中学校体育館空調設備設置工事に係る進捗について事務局お願いします。

○事務局 こちらは令和6年度文命中学校体育館空調設置工事という名称になります。工事自体は令和7年度に行うものですが、国の補助金の関係上、令和6年度を繰越して令和7年度に行っておりますため、令和6年度という表記になっています。

受注者は同郷建設株式会社になります。直近では町民センターの改修工事を担当してくださった会社になります。非常にしっかりした会社になっているため、業務内容などに心配しているところは特にありません。具体的に7月分については、本日が7月22日火曜日で資料の7月の右側になります。これよりも左側の作業については、現時点で完了しているものになります。

初めて間もないため、仮設工事や撤去工事が7月いっぱい作業となります。実際にエアコンをつけるための下準備工事が始まり、空調管設備工事については、位置を決定、冷媒管やドレン管の通す位置の確認を行っています。最後に電気設備工事、既存の照明器具の撤去取り外しが今週から本格的に行われます。これから8月については一気に工事が進み、2学期の早々には試運転のかたちで運用していく形で運用業者ともども、計画を進めています。

始まったばかりのため、進捗としては以上になります。今後も問題があった場合は、皆様に周知させていただきます。何事もなければ粛々と進めさせていただきます。以上です。

○教育長 皆様から、質問等ございますでしょうか。

○全委員 特になし

(3) 経過報告、今後の予定

・資料3について説明した。

○教育長 つづきまして、報告事項3にうつります。経過報告および今後の予定につきましては、事務局より説明をお願いします。

○事務局 学校教育課より報告します。まず、資料3および本日配布した資料3-1をご覧ください。資料3については、経過報告になっております。特筆すべき事項として、7月18日(金)に園・学校ともに無事終業式を迎えることができました。また、7月22日(火)である本日は定例教育委員会となっております。

続きまして、資料3-1をご覧ください。こちらは今後の予定となっております。

まず、8月21日(木)に西湘地区教育委員会連合会主催の令和7年度教育講演会が開催されます。資料の下部※1を確認いただければ幸いです。会場は小田原市民ホールですが、当町ではオンライン出席にて対応させていただきます。

次に、8月22日(金)には、開成町主催の教育講演会を実施いたし

ます。会場は開成町民センター大会議室で実施します。開始時間は14時、受付開始は13時45分です。講師として、上智大学基盤教育センター非常勤講師の鈴木茂義様をお迎えし、「LGBTQ+を入り口に考える共生社会の実現」をテーマにご講演いただく予定です。

また、8月25日（月）は定例教育委員会の日となっております。こちらは13時30分から開成町役場2階201会議室にて開催します。

最後に、8月29日（金）には園・学校の2学期の始業式が予定されています。

学校教育課からの報告は以上となります。

○教育長

ありがとうございます。続いて、生涯学習課お願いします。

○事務局

生涯学習課よりご報告します。まずは資料をご確認ください。

最初に経過報告をさせていただきます。6月25日（水）は幕別町との青少年交流事業の参加者と、パークゴルフ練習会を予定しておりましたが、あいにくの雨天のため中止とさせていただきました。

次に、6月29日（日）に実施された、足柄上郡総合体育大会の2日目についてご報告します。総合結果としては準優勝となり、残念ながら4連覇を果たすことはできませんでした。その一方で、野球競技においては久しぶりに優勝を収めることができました。これは嬉しい結果です。また、参考として総合順位をお伝えします。優勝は大井町、第3位は松田町、第4位は山北町、第5位は中井町となっています。

続いて、7月についてご報告します。資料からは漏れていますが、7月1日（火）より図書室内の学習室を試行的に運営開始しました。

学習室の利用状況について、7月20日（日）時点で延べ28名の方が利用されました。6月末には学校の定期試験があったため、町民センター内の図書室、2階サポートセンター、1階ロビーに高校生が集中している状態でした。一方で7月1日以降は、定期試験の終了とともに利用者が減少している状況です。

なお、9月にも試験を控えている高校が多いため、その際には学習室のご利用が活発になることを期待しています。

8月12日（土）には、ニュースポーツ出前講座として円中自治会にお招きいただき、「ボッチャ」の普及を目的に参加しました。参加人数は31名でした。円中自治会ではこの講座を毎年実施しており、今後は自治会のスポーツの一環として定例化できないか、現在調整を進めている状況です。

8月13日（日）には、ジュニアリーダーサマーキャンプに係る事前説明会がありました。この説明会では、主に青少年指導員が中心となり説明をしました。

続いて、8月19日（土）から20日（日）にかけて、ジュニアリーダーサマーキャンプが本番を迎えました。予定していた57名全員が参加されましたが、2日目の朝に体調を崩されたお子様がいたため、途中から56名での実施となりました。なお、このキャンプはジュニアリ

ーダー育成を目的としており、現在はコロナの影響によりジュニアリーダーが2名のみという状況です。今回の参加者には中学生が10名含まれており、昨年度より中学生が増加している傾向にあります。そのため、今後この参加者たちをジュニアリーダーとして育成することができればと考えています。

なお、8月19日（土）には、スポーツ推進員の事業として開成南小学校の体育館でボッチャの体験会を開催いたしました。さらに翌日、8月20日（日）より開成南小学校のプールが一般開放しました。

続いて、今後の予定について説明させていただきます。

まず、7月23日（水）からジュニアチャレンジスクールが始まります。ジュニアチャレンジスクールは、昨年度まで「あじさい講座」の夏のセミナー「ジュニアサマースクール」として実施されていた事業を、名称変更したものです。

またお手元にお配りした、青い冊子がジュニアチャレンジスクールの詳細を記載した資料でございます。恐れ入りますが、お時間のある際にぜひご一読いただけますと幸いです。なお、今年度からこの冊子に瀬戸屋敷の情報を掲載しております。瀬戸屋敷は観光としての側面が強いですが、生涯学習の機能もあわせ持っており、今年度より夏のセミナー冊子の中に瀬戸屋敷の子ども向け事業を、生涯学習の一環として掲載しております。

ただし、日程につきましては、夏のセミナーと重複してしまっている日が多くございます。この点につきましては、来年度以降、調整を進めてまいりたいと考えております。

なお、以降のジュニアチャレンジスクールに関する詳細については、割愛させていただきます。

7月28日（月）から31日（木）まで、北海道幕別町との青少年交流事業として、幕別町へ行きます。小学生の参加者は23名となっており、引率者として教育長、生涯学習課長、他1名の計3名が同行いたします。

なお、残りの日程につきましては、全てジュニアチャレンジスクールの活動となります。ジュニアチャレンジスクールに関して申し上げますと、昨年度の申し込み人数は112名でございましたが、今年度は172名と大幅に増加しております。

また、昨年度は申し込み締切日に参加結果を子どもたちへ送付していたのですが、対応する人数が多かったため、締切日に未完了です。その結果、週を跨いでの参加結果周知を行っている状況です。来年度はこの点について改善を図りたいと考えています。以上です。

○教育長

ありがとうございます。学校教育課および生涯学習課に関する経過報告と今後の予定についての説明がございました。つきましては、不明な点や質問がございましたらお願いします。

○教育長

ジュニアチャレンジスクールの講座数については、去年度よりも数

は増えているのでしょうか。

○事務局 講座の数に関しまして、生涯学習課が実施しているものにつきましては、件数は変わらず同数となっています。

ただし、瀬戸屋敷が主催する講座や、学校教育課による幼小中高連携事業につきましても、一括での申し込み形式となっています。そのため、これらを通じて多少ですが、生涯学習課が主催する講座に誘導できているのではないかと考えております。

○井上委員 こちらの青い冊子につきましては、子どもたちにも同様のものが配布されているのでしょうか。

○事務局 こちらにつきましては、小学校および中学校の生徒全員に対し、同様のものを配布いたしております

○教育長 そのほか、質問等ございますでしょうか。

○全委員 質問、意見無し

(4) 開成町立学校の様子について

○教育長 報告事項の4、開成町立学校の様子にうつります。

先日の園長、校長会において、各園長ならびに校長からの報告をうけましたので、その内容も含め、私の方から詳細をお伝えさせていただきます。

文命中学校の様子です。

1学期を振り返りますと、全体として体育祭をはじめ、3年生がリーダーシップを発揮し、活発な活動が行われました。一方で、1年生の一部に落ち着きのない状況が見受けられ、担任の1名が療養休暇に入る事態となったため、代わりに非常勤の先生方に授業をご担当いただいております。授業については現在のところ順調に行われておりますが、休み時間や放課後の行動において課題があり、対応が必要な状況です。

生徒指導面では、Chromebook を使用したいじめの案件があり、授業外での利用に関する管理意識を高める必要性があります。夏休み前には教育ネットの情報モラル教室と薬物乱用防止教室が実施されました。水たばこを吸ったという事案も発生しているので、煙草が薬物へとつながる可能性を防止する観点からも、薬物乱用防止教室を実施いたしました。

児童相談所の関わる案件が起こっています。いずれも家庭問題が原因で、子どもの生活環境に影響が及び、学校へ登校できない状況に陥っているとのことです。このような課題が増加してきている傾向にあります。

その一方で、スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）が非常に良く機能しており、大変助かっているとのこと。ＳＳＷには頻繁に学校に足を運んでいただき、家庭や子どもとの関わりを築いており、学校としても非常に心強い存在となっているようです。

修学旅行についてですが、今年度は５月の中旬に実施されました。しかし、35度を超える非常に厳しい暑さの中での行事となり、生徒たちの体調を考慮すると、今後は実施時期について再検討する必要があるのではないかと意見もあります。

現在、夏の総体が進行していますが、非常に暑い気候が続いているため、生徒の健康状態への配慮が求められています。ある会場では、暑さの影響で体調を崩し、救急搬送された生徒がいたと報告がありました。各会場では、会場責任者の教頭先生が対応されていますが、教頭先生一人の判断に任せるのは負担が大きく、今後は熱中症に関する対策マニュアルをしっかりと整備する必要があるのではないかという話もあがってきています。

続いて、開成小学校の状況です。

開成小学校では、子どもたちの生活環境がだいぶ落ち着いてきたとのこと。特に６年生における意識の高まりが感じられ、生徒たちの変化が見られるとのこと。以前は感情を抑えきれず、暴力行為に走ってしまうケースもありましたが、現在では徐々に自分で冷静を取り戻すことができるようになってきているようです。

その他、開成小学校では生徒たちが放課後、公園に集まり、迷惑行為を働いてしまう問題がございました。この課題に対応するため、松田警察署のご協力をいただき、講習会を開いていただきました。講習会を通じて、子どもたちへ公園での過ごし方や社会的なマナーについて指導が行われ、学校としての取り組みがより一層強化されています。

タブレットの使用状況の中で、活用方法について改善の余地があるとのこと。情報モラルや活用方法の課題については、夏休みに入る前に教育ネットのご協力をいただき、講習会を実施しています。夏休み中はタブレットを子どもたちが持ち帰るということもあり、保護者の方々にもタブレットの使用状況をしっかりと見守っていただきたい旨を伝えるとともに、子どもたちのタブレットのパスワードを保護者に共有し、協力をお願いしています。

昨年度から取り組む校内教育支援センターの活用ですが、支援センターを利用していた子どもたちが、クラスに戻り、他の児童と活動を共にすることができるようになったという成果が上がっています。

校長が感じている課題として、教職員の学習評価に関する意識に差があるとの点が挙げられています。改善のために評価方法に関して学校全体で見識を深め、研修等を重ねていきたいとのこと。

続きまして、開成南小学校についてです。

昨年度に比べ欠席者の数が減少しています。６年生が学校内でリ

ーダーとして活躍する場面が増えているとのことです。

授業に関しては、昨年度まで総合の時間を校内研究の中心として取り組んでいましたが、現在は「総合」と「教科」の2本立ての形で、教員の指導力向上をテーマに進めています。そして早くも1学期の間だけでも一定の成果が見え始めているとのことです。

また、子どもたちの特徴として「言われたことはやるが、創造性が乏しい」という課題が挙げられていました。しかしながら、この課題について校内研究を通じて取り組みを進めた結果、少しずつ改善の兆しが見られるようになったとのことです。

さらに、コンクールに関する子どもたちの意識変化が見られたそうです。子どもたちにコンクールへの意欲を尋ねたところ、「チャレンジしてみたい」という声が多く挙がったそうです。こうした状況から、夏休み明けのコンクールに向けて良い成果が期待できるのではないかと考えております。

開成南小学校においても、開成小学校と同様に、子どもたちを対象にしたSNSの利用に関する研修会を実施しました。また、その研修資料を参考に、保護者に対しても周知を行っているとのことです。

最後に開成幼稚園についてです。

1学期の終盤に園児と保護者に新型コロナウイルスの感染が見られ、感染症への注意喚起が高まりました。1学期は幼稚園でも大きな怪我や事故はなく、日頃の安全指導の成果であると思います。また、夏休み前には、保護者を対象に保健安全に関する呼びかけや、職員への不祥事防止に向けた周知を実施いたしました。

保育時間の延長を行っている一方で、この延長された時間内の保育内容を見直す必要があることが課題となっています。延長した時間内で、どのような活動を行うか、また、子どもたちがどのように過ごすかについて試行錯誤を重ねながら進めている状況です。

昨年度、クラスに1台ずつタブレット端末を導入し、保育のICT化を推進しています。さらに、昨年9月からは「ルクミー」という保護者との連絡ツールを導入しており、今年度に入り、このツールの利用範囲がより拡大しています。

幼稚園には現在133名が在籍しており、県内で第1位の規模を維持している状況ですが、ここ数年で園児数が減少傾向にあるため、園児数の確保が重要な課題となっています。そこで、幼稚園としては「魅力ある幼稚園生活」を目指し、「社会との関わり」をテーマに掲げて今年度の活動に取り組んでいます。

具体的な取り組みとしましては、地域イベントであるあじさい祭りでの歌、駅前公園の花植え、さらには庁舎内に虹のデコレーションを展示する活動など、地域と連携しながら、公立幼稚園の魅力を積極的に発信しています。

今年度からは心の教室指導員が幼稚園に週1日程度配置されており、小学校進学時の準備や言葉の発達に関する相談が寄せられる

など、幼稚園でのニーズが高まっています。このため、指導員の派遣回数や勤務日数を増やしてほしいとの要望が園側よりあがってきています。相談員の先生は中学校での相談業務にも携わっているため、幼稚園でのニーズに対応するためには中学校との調整が必要となっており、2学期以降具体的な調整を進めていく予定です。

以上園・学校の様子になります。こちら質問等ありますでしょうか。

○全委員 質問、意見なし

(5) その他

○教育長 報告事項5のその他になります。事務局からございますか。

○事務局 特にございません。

○教育長 そのほか、委員の皆様報告事項ございますか。

○本澤委員 中学校三年生についてですが、不確かな情報で恐縮ですが、教育相談や面談の際に、内申の情報が提示されず、その結果、志望校の絞り込みができず困っているというお話を伺いました。

現在、2学期制への移行途中だと存じますが、その件に関しまして問題がないのか、また具体的にどのように運用されているのかについて、お教えいただければ幸いです。

○教育長 中学校におきましては、実力テストを実施し、その結果を一覧表としてまとめられているとのこと。この一覧表を用いて、面談などでアドバイスやご説明をされていると伺いました。

なお、評価については出していないとのこと。

○本澤委員 他の2学期制の小田原市や南足柄市については、評価が出ていると思うのですがいかがでしょうか。

○教育長 小田原市や南足柄市でも、出していないと認識しております。

○本澤委員 これまでの3学期制においては成績が明確に示されている状態でしたが、制度変更後においては、保護者の皆さまと学校側の認識にずれが生じているということでしょうか。

○教育長 3年生につきましては、10月に成績が提示され、12月には進路用の資料が提供される予定となっております。これにより、これまでの回数自体は変更されませんが、7月に提示されていたものが10月へと変

更される形となります。

○本澤委員 現在の時点で志望校を絞り込むことが難しく、困っていらっしゃる
と伺っておりますが、この点につきましては、やむを得ないものと考え
えるべきでしょうか

○教育長 現在の進路を考えますと、評定そのものの影響力が大きくはないた
め、重要性が低くなってきており、問題無いと考えています。

○本澤委員 評定平均がかなり重要視されていて、私立では評定平均を基に決め
ていたと思うのですが、今はそうでもないのでしょうか。

○教育長 学力的なものは実力テストの素点が目安になります。公立について
は評定が一つの目安になっていることに変わりはないと思います。た
だ夏休み前に知って、夏休みに決めることは減ってきているのではな
いかと思っております。

○教育長 そのほか、意見等ありますか。

○全委員 質問、意見なし

閉 会 ： 教育長より閉会の宣言